

石鎚森の学校2024冬 氷点下の森の自然観察&雪遊び

【実施日】 令和6年2月10日(土)～11日(日)
【場 所】 石鎚山成就地区／松山市駅～西条市内経由、
西之川まで送迎バス運行

恒例の冬イベントを開催しました。今年のご参加が少なく、スタッフを含めて13名での活動となりました。何よりも心配していたのは、このイベントに欠かせない「雪」。近年は雪不足ですが、今年は例年頼りにしていたお宮の屋根から落ちた雪もすでに溶け去り、大ピンチでしたが、前日に2～3センチの降雪があり、成就社の神職さんがブルドーザーで境内の一角に集雪して下さって、可愛いかマクラもつくることができました。

やはり、子供たちは遊びの天才！雪が少なくても心配ありません。観ていると次々と冬の自然の中に遊びを展開して行きます。小さな雪像をつくり、屋根のツララを取ったり、雪合戦にソリすべりと、外での遊び方は際限ありません。屋内では昆虫・天体のプロカメラマンである講師の北添伸夫さんから上手な写真の撮り方のお話をいただき、自然と石鎚山に関するウルトラクイズや大保木カルタ取りで、楽しい時を過ごしました。



ご支援ありがとうございます

石鎚森の学校は19年目を迎えました。当団体の活動は、皆様のご参加・ご協力ならびに、会員の皆様の会費・寄付金などに支えていただいております。今後ともよろしく願いいたします。新規のご入会もお待ちしています。

正会員58名
／年会費5千円
賛助会員39名
／年会費3千円
団体会員3団体
／年会費3万円
(令和6年7月末現在)

団体会員様 (順不同)
セキ(株)
(有)石鎚観光
(株)愛媛銀行

石鎚山の伝承

成就社見返殿内の天狗面

天狗の初見は日本書紀、流れ星を「天つ狗」と呼んだものとされています。山岳信仰では神様のお使いとされ、役小角には「法起坊大天狗」の名もあります。

写真の天狗面は、昭和55年11月13日に成就で起きた火災で焼け残った境内のご神木より信徒が謹製して奉納したものです。第33早鷹王子社に天狗伝説があります。



秋の野辺で食べられる木の実

(松井宏光 石鎚森の学校理事、愛媛植物研究会会長)

秋の野辺歩きの一楽しみは食べられる木の実(果実)に出合えることです。今回はそのまま食べて美味しい木の実をいくつか紹介します。美味しい実は動物たちとの競争になるので、お早目に。そして、彼らの分も残しておきましょう。

アキグミ



低山から標高900mあたりで見られる落葉樹。真っ赤な丸い果実がたわわに実り思わず手が伸びます。完熟するとグミ特有の渋さに甘み加わり美味です。果実酒にも最適。グミの仲間は根で空中窒素を固定できるのでやせた土地でも成長できます。



光陰矢の如し。年1回発行の「石鎚森の学校新聞」は今回が20号となりました！
2006年7月のNPO法人化に先立ち、2005年度に創刊。記念すべき初回のトップ記事は「見つけてごらん。さわってみよう」。同年10月に2回開催された自然学習会の報告でした。

最も多くオモテ面トップを飾ったのは、夏の自然観察会。コロナ禍で自粛を余儀なくされた2020年・2022年を除き、継続して開催している当団体の名物事業です。夏の爽やかな成就で、植物や昆虫、動物の痕跡などに目を向け、人々の

石鎚山への想いや歴史を感じながら一緒に過ごしましよーという気持ちは、当初から変わりません。2008年・2012年は森で歌う企画を盛り込み好評を博しました。また、子どもたちの笑顔と青空に映える樹木など、美しい写真が印象的な「氷点下の森の自然観察&雪遊び」も恒例のイベントです。最も荘厳な冬期に成就で1泊して雪遊びと自然観察を満喫し、毎回心に残るものがあります。近年は雪不足に悩まされていますが、初回の2010年2月にはそんな心配はほとんど無かったところからも、温暖化が進行してきたことが実感されます。

本紙は当団体の活動報告が中心ですが、11号(2015年度号)では「二の鎖元に環境配慮型トイレ完成!!」を大きく掲載。2014年11月20日に環境配慮型トイレ・休憩所が開設され、本格的な山のシーズンを迎えた翌5月23日に、石鎚山クリーンアップ協議会が主催した環境啓発登山を紹介しています。当団体も2010年より「石鎚山トイレ問題検討委員会」の構成団体として活動し、先進地の情報収集や山岳トイレに



①瓶ヶ森から望む石鎚山

②本年8月12日「ブナの森の自然観察会」は、初代、2代目、3代目事務局長がそろって運営。これも当団体のステキなところ。左から、2代目:曾我部英司氏(リチャード)、初代:北添伸夫氏、3代目:十亀雅史氏(ゴンザレス、2024年3月より担当)

③最も多く写真を掲載した花は、夏の観察会の常連であるクレンゲシヨウマでした!

グランドワーク石鎚

(春季環境啓発登山)に参加



【実施日】 令和6年6月2日(日)
【場所】 土小屋ロータリー集合→二の鎖元トイレ休憩所→山頂→下山
【主催】 石鎚山クリーンアップ協議会
【内容】 石鎚山環境保全についての講話、石鎚山公衆トイレ休憩所に砂利を運搬
【参加者】 石鎚山クリーンアップ協議会メンバー等 約80名
【事務局参加】 岩本昌美、黒河由佳(事務局スタッフ)、秋山一幸、藤原隆子(サポータースタッフ)
石鎚山の景観、豊かな生物多様性を次世代へつなげるため、地域、企業、行政が連携して自然環境の保全活動を推進することを目的とする啓発登山、絶好の登山日和となりました。
土小屋ロータリーでの開会式では、石鎚山公衆トイレ清掃を担っておられる山のボランティアネットワークの渡辺二孝氏から、トイレの状況や山の環境保全についてお話をいただきました。また、浄化槽を施工・保全しておられる(株)ダイキアクシスからも講話をいただきました。
道中は小鳥のさえずりが心地よく、爽やかな風に吹かれながら楽しく登山することができました。二の鎖公衆トイレ休憩所に運んできた砂利を補充。頂上では記念撮影、昼食休憩の後下山しました。
マイズツテンナンショウ、シコクハタザオなどの可憐な花々にも元気をもらい、石鎚登山の魅力を確認できました。今回の土小屋ルートでは、ニホンジカの食害が目立ちませんでしたが、石鎚山の環境保全について多くの方に知ってもらい、みんなで石鎚山の自然を守っていききたいと感じる一日となりました。

エビヅル



ブドウ科のツル植物で葉の裏面に茶色の毛が密生しているのが特徴。熟した果実は甘酸っぱくて美味。低山でも普通に見つかります。数房持ち帰り、しばって水を少し加えると赤ワインに似たエビヅルジュースとなります。

ヤマブドウ



ブドウ科のツル植物で標高800m以上に生育します。かなり酸っぱいのですが、山登りで疲れた体にはその酸味がとても美味しく感じます。ひと房を持ち帰り、その果汁をお酒や炭酸と混ぜて、その日の山登りを思い出しながら飲むのも良いですね。

フユイチゴ



キイチゴの仲間では地面を這うよう拡がります。ルビーのような小さな粒が集まって一つの果実となっていて、素朴な甘さと酸っぱさを楽しめます。そのままでもいいけど、ヨーグルトのトッピングにしても、クリスマスケーキの飾りにしてもいいです。

サルナシ



マタタビ科のツル植物で、キウイフルーツの仲間です。果実は長さ2～3cmほどの俵形で、熟した果実は甘酸っぱくてキウイとよく似た味です。サルナシの別名はシラクチヅルといい、ツルは強靱で祖谷のかずら橋に使われています。

◆森林保全活動

【実施日】令和5年11月8日（水）

【場 所】石鎚山成就地区 石鎚神社本殿裏の林、第2園地周遊道

毎年11月に行う森林保全活動ですが、今回も天候に恵まれて実施することができました。この時期、成就地区のブナ・ミズナラなどは落葉し、林内からもすがすがしい空が望めました。本年は事務局スタッフ6名と昨年も参加して頂いたチェーンソーも扱えるゲストの計7名で、本殿裏の林と第2園地の整備を行いました。数年手を入れていなかった本殿裏の林では、以前に植樹したヤマザクラ周辺の雑木や下草の小枝を払い、サクラに陽が当たるように作業を行いました。

第2園地の周遊道は下刈りがされていて、ほとんど私たちが手を入れる必要が無い状態でした。おそらく西条市の関係で本来お山開き前にされる下刈りが遅くなった結果？なのか…。よって、30人掛けベンチの発掘と周遊道に倒れかけていた朽木の撤去を行い、本年の活動を終了としました。

少々肌寒いお山の晩秋の空気が満ちる青空の下、心地良い汗を流すことができました。



石鎚森の学校 2024夏 ブナの森の自然観察会

【実施日】令和6年8月12日（月・祝）

酷暑が続いた8月でしたが、当日の成就地区の気温は25℃。ロープウェイ成就駅に降り立つと、涼さとフィトンチッド（樹木などが発散する揮発性物質）のおかげか、下界で溜まっていたストレスもどこへやらー。総勢16名が登山道を進みながら自然観察を楽しみました。時折白い霧がたちこめて冷気を堪能できましたが、それだけに残念ながら頂上は見ることができませんでした。

年々群落が拡大しているスキー場ゲレンデ近くのキレンゲショウマを観察してから、リフトに乗りして成就地区へ。ヒヨドリバナが咲きそろう、アサギマダラが吸蜜する様子も見られました。成就境内では、神社の建物や成就の歴史についての解説を行い、参加者はうなずきながらお話を聴かれていました。

振り返りでは、「山の冷気にいやすれました」「山を楽しみつつ、植物などの解説がたくさんあり、たいへん満足でした」などのご感想をいただき、運営側もパワーをチャージすることができました。

①下谷駅～成就駅まで、標高差約845m、約8分間のロープウェイも楽しみの一つ ②人工林と天然林の境となっている登山道での解説 ③キレンゲショウマの群落を観察。パナナを思わせる独特の花は一見の価値あり！ ④シカによる樹皮はぎが見られるリョウブ ⑤ヤマジノホトトギス ⑥ヒヨドリバナ



愛媛県立丹原高等学校にて出前授業

【実施日】令和5年12月4日（月）

【場 所】愛媛県立丹原高等学校（西条市丹原町）

【事務局出席】曾我部英司事務局長／授業担当、岩本昌美事務局スタッフ／パワーポイント操作担当



授業のテーマは「石鎚山の環境について」。高校での授業は初めてであり、石鎚山の環境に特化したお話を過去にした経験はなく…。ご依頼があった時点ではどうしたものかと考えました。が、そういえば、近年降雪量は確実に減り、成就地区の植生も温暖化のためか一部にかつて無い変化があり、ここ2年程の間にニホンジカによる樹木への食害も散見されるようになりました。一方では、二の鎖元にエコトイレが設置されてから10年近くなり、かつての様に山中にティッシュの花が咲かなくなりました。石鎚山の環境とその変化について、お伝えすることが多々あることに気づき、専用のパワーポイントを作成して当日に臨みました。

受講者は1年・2年生の合計9名でした。面白く興味ある内容であったかどうかは、生徒さんが決めることですが、事務局長も岩本スタッフも晴々と清々しく教室を後にしました。

愛媛県ニホンジカ対策植生協議会設立総会に参加

【実施日】令和6年4月23日（火）

【場 所】愛媛県農林水産研究所

【運 営】愛媛県自然保護課

【事務局参加者】曾我部英司理事、十亀雅史事務局長、岩本昌美事務局スタッフ

【参加会員】県生物多様性センター、県総合科学博物館、松山市、今治市、宇和島市など自治体、愛媛大学社会共創学部、加計学園岡山理科大学獣医学部、愛媛植物研究会、NPO法人西条自然学校、NPO法人石鎚森の学校、愛媛県山岳・スポーツクライミング連盟、面河溪を愛する会、えひめ森の案内人会、愛媛県勤労者山岳連盟、各地の森林組合、環境省中国四国地方環境事務所四国事務所、農林水産省林野庁四国森林管理局愛媛森林管理署等約50名

愛媛県石鎚山系生物多様性保全推進協議会の後継として、保全エリアを石鎚山系から県域に拡大する形で新たな協議会が設立されました。まず規約（案）、会長・副会長・監事が選出され、次に会計処理規程、事務処理規程、内部監査実施規定の各規定を承認。その後、令和6年度事業計画（案）、部会の設置、令和6年度収支予算（案）が審議され、各議案が承認されました。

当団体は「人材育成・普及啓発部会」に所属し、植生被害やシカ痕跡等モニタリング体制構築、人材育成、地域における生物多様性保全活動の推進に係る啓発等を担当することとなりました。令和6年度中に登山道を散策しながら動植物の観察やニホンジカによる植生被害について学ぶエコツアーを2回実施する予定です。



石鎚の大自然と古の山岳信仰体験 モニターツアーに参画

【実施日】令和5年11月15日（水）～16日（木）

【場 所】石鎚神社成就社、石鎚山成就地区の登山道周辺

【主 催】日本航空（株）松山支店、（株）ソラヤマいしづち

【参加者】外国人含む総計約25人

【事務局参加】曾我部英司事務局長、岩本昌美事務局スタッフ



外国人を主な対象に、石鎚神社本社、極楽寺、成就地区、UFOライン、土小屋地区、瓶ヶ森、面河溪などの石鎚山系を周遊体験する2泊3日のモニターツアーが催行されました。

15日夕刻は、成就社見返り選拝殿において篠笛奏者・阿部一成さんの楽曲奉納ステージでの太鼓演奏&祝詞コラボを堪能していただきました。通常の光源を落として参道や殿内には灯笼なども設置し、霊山の神秘的な空気の中、大好評の音霊体感となりました。

翌16日には、参加者全員が成就社の朝拝に参列。神事後、成就社主任の玉井権祐宜より神社の説明、また曾我部事務局長からは、正坐や拝礼などの作法を解説。外国人の方々はお守りや朱印をお受けになっていました。そして、下山では登山道周辺自然の解説をしつつ、予定のロープウェイに乗りすることができました。

成就社下山後は土小屋に向かい、UFOラインでEバイク体験が待っています。石鎚山系での素敵な旅路を願ってお見送りしました。

石鎚エリア外国人モニターツアーをガイド

【実施日】令和6年1月27日（土）

【場 所】石鎚山成就地区

【主 催】（株）ソラヤマいしづち

【参加者】モニター外国人20名、通訳1名、スタッフ等5名（計26名）

【行 程】ロープウェイ山頂駅～成就の森ウォーキング～成就社境内、（正午）昼食、（13:30）成就社よりリフト経由下山～石鎚スキー場で雪遊び～（山頂駅）、16:20下山

【事務局参加者】曾我部英司事務局長、岩本昌美事務局スタッフ

近年、年間を通して外国人の登山者が増えてきたこともあり、今回はフィリピン、タイ、ベトナム等アジアの方を中心にモニターツアーが企画され、当団体は成就の森ウォーキングのガイドを担当させて頂きました。当日は、風も無く氷点下3度程で適度に雪があり、霧氷も咲く青空の下で実施することができました。雪を初めて観る方もいっしょに、成就地区の冬の大自然の景観に皆さん大盛り上がりのご様子。素敵な思い出になったことは間違いのないかと思えます。

次回、またご縁がありましたら今度は夏の石鎚山でお会いしましょう！春夏秋冬それぞれに自然の素晴らしさを覚え、日ごとにその見え方や感じ方は異なってきます。正に一期一会の出会いがそこにあります。皆さん、お疲れ様でした！

